

取扱説明書

保証の明細付

KLD-645、KLD-655****

●製品記号は、座面の裏側にラベルで表示してあります。

ご使用前に必ずこの取扱説明書を読んでください。

この度はイトーキ製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この説明書は製品の使い方と、ご使用上の注意を記載しています。お読みになったあとも、いつもそばにおいて、わからない時にご再読ください。また、製品をほかの方に渡す時には、必ずこの取扱説明書を一緒にお渡しください。

保証の明細

お使いの弊社製品が、取扱説明書、本体貼付のラベル等の注意書による正常なご使用状態のもとで故障した場合、下記保証期間をご参照のうえ、お買い上げの販売店までご連絡をお願いいたします。転居されたり、譲渡された物の修理等でお困りの場合にはイトーキお客様相談センターへご相談ください。

保証項目

保証期間は「一般社団法人日本オフィス家具協会 (JOIFA)」のガイドラインに準拠して、お買い上げ日から下記の年限とさせていただきます。

1年保証	外観表面仕上げ	塗装・張地 (皮革を含む) の変色、褪色、摩耗
2年保証	機 能	イスの上下・回転・ロッキング機構・キャスター・折りたたみ機構
3年保証	構 造 部 材	座部・背もたれ部、肘かけ部、腰部の構造部材

上記の保証期間は、一般的なオフィスにおいて、通常の執務状態 (1日8時間程度) で使用した場合を想定して定めたもので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をする所での保証期間ではありません。

保証書がない場合、または、当社以外から納品の既使用品の場合は、製造年月日より概算 (1年2年3年と) しております。

保証対象外の場合

保証期間経過後の修理については、有料とさせていただきます。

保証期間内でも以下の場合には有料とさせていただきます。(修理によって機能の維持ができる場合のみ)

- ・取扱説明書や貼付ラベル等に従って使用されていない場合の故障または破損。
- ・中古品、第三者からの譲渡品・転売品の故障または破損。
- ・異常な環境下 (高温、多湿など) でのご使用や保管による故障または破損。
- ・天然材料 (木、革など) における色調、光沢等の質感の違い。
- ・お客様による納品後の移動や運搬による故障または破損。
- ・火災、天災による故障または破損
- ・改造、ご使用者の責任に帰すると認められる故障または破損

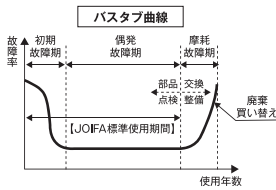
JOIFA 標準使用期間について

JOIFA 標準使用期間：注意喚起が目的で、耐用年数や保証期間ではありません。

一般社団法人日本オフィス家具協会 (JOIFA) では、改正消費生活用製品安全法的主旨に合わせ、一定の使用条件 (注) で、安全上支障なくご使用できる期間として、自主的に『JOIFA 標準使用期間』を設定しました。この期間は製品の無償保証期間とは異なります。通常製品は右のバスタブ曲線が示すように、この期間の末期から、経年劣化などによる故障が増大することが考えられます。その場合に、点検・整備や部品交換で継続使用いただくか、ご使用に耐えない場合には買い換えを勧めさせていただく場合もあります。JOIFA 標準使用期間の終期は、製品に貼付されているラベルをご確認ください。製造年に JOIFA 標準使用期間を加えた年の年末となります。

(注) 品目別の使用条件は、JOIFA のホームページ <https://www.joifa.or.jp/> をご覧ください。

※保証期間及び JOIFA 標準使用期間の内容につきましても、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。



保証書の発行

保証書をご入用の場合は、お買い上げの販売店までご連絡をお願いします。お買い上げ日は保証書に記載してお渡します。

部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。(エコマーク対象品は10年間です。)

補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。※仕様については予告なしに変更する場合があります。

取り扱い説明書を紛失した場合

お買い上げの販売店までご連絡をお願いします。

製品の廃棄について

不要となった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。廃棄の際は法令に従った適切な廃棄処理をお願いします。ご不明な点はこちらにご相談ください。

製品と修理 (修理の範囲・修理に必要な期間) に関するお問い合わせ

イトーキお客様相談室

☎0120-164177

🌐<https://www.itoki.jp/>

T-H247- クロスウッド

1 | 安全上の注意事項

安全に正しくお使いいただくため、必ずお守りください。

注意の種類の規定 一般社団法人日本オフィス家具協会 (JOIFA) による次のような危険性の規定に基づいています。

⚠ 警告 | 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意 | 取り扱いを誤ると傷害または物的損害が発生する可能性があります。

⚠ 警告

- ・滑りやすい床面や傾斜した床面で使わないでください。転倒してけがをすることがあります。
- ・イスの上に立ち上がらないでください。転倒してけがをすることがあります。
- ・背や肘かけに腰掛けたり、乗らないでください。転倒してけがをすることがあります。
- ・椅子を折りたたんだ状態で腰掛けたり、乗らないでください。転倒してけがをすることがあります。

⚠ 注意

- ・座面がぐらついたり、異音が生じたまま使わないでください。壊れてけがをすることがあります。
- ・後ろの脚だけに体重をかけないでください。転倒や破損することがあります。
- ・ものを載せたままイスを移動しないでください。落下してけがをしたり、破損することがあります。
- ・回転部や可動部のすきまに指を入れないでください。挟まれてけがをすることがあります。
- ・運搬に使用するなど、用途以外で使わないでください。転倒してけがをすることがあります。
- ・分解しないでください。けがや故障の原因になります。
- ・居室の換気をせずに使わないでください。

下記は建築基準法に基づく方法でオフィス内における換気量算出の一例です。

$$\text{必要換気量 (m}^3/\text{h)} = \frac{20 \times \text{居室の床面積 (m}^2\text{)}}{1 \text{人当たりの占有面積 (m}^2\text{)}}$$

左式の「20」は 20 (m³/h・人) の意味ですが、この根拠は成人男子が静かに座っているときの CO₂ 排出量に基づいた必要換気量です。居室では1人当りの占有面積が 10 (m²) を超える場合は 10 (m²) とします。

2 | 使用上の注意事項

- ・直射日光が当たる所でのご使用はさけてください。紫外線による変色や色あせのおそれがあります。
- ・ボルトやネジがゆるんだまま使わないでください。故障の原因になることがあります。
- ・製品の購入当初は化学物質の発散の多いことがあります。暫くの間は、換気や通風を十分に心掛けてください。また、室内が高温 (温度 28℃、相対湿度 50% 越えが目安) になる場合には窓を閉め切らないか、強制換気をしてください。
- ・落下や転倒した場合、イスの各部に破損、変形、ガタツキがないことを確認してからご使用ください。
- ・テーブルの下に収納するときにイスの背を勢いよく天板にぶつけると、キズや破損の原因になります。
- ・可動部に注油をしないでください。油がたれて、床や衣類を汚す原因になります。
- ・ネスタブルの際は、丁寧に重ねて収納頂くようお願いいたします。強い衝撃や落下等の乱暴な扱いをされますと、破損や塗装剥がれの原因になります。
- ・鋭利な角のあるものをぶつけたり、硬質なものを引きずると表面にキズやヘコミの原因になります。

Crossa Wood

取扱説明書

保証の明細付

KLD-645、KLD-655****

●製品記号は、座面の裏側にラベルで表示してあります。

ご使用前に必ずこの取扱説明書を読んでください。

INDEX

1. 安全上の注意事項
2. 使用上の注意事項
3. 名称・仕様・機能
4. 点検・お手入れ
5. 故障かな?と思ったら
6. 品質表示
7. 木のトリセツ



3

名称・仕様・機能

各部の名称と仕様

座木タイプ
KLD-655

座クッション

座クッションタイプ
KLD-645

製品記号ラベル
※座面裏側

折りたたみ機能と収納方法

座裏側後端にある持ち手を掴んで手前に引き上げます

そのまま座を持ち上げると上図のように折りたたみできます

そのまま製品同士を重ねて収納できます

展開方法

両側の肘部を掴み、製品を上図のように持ち上げます

肘部を持ったまま、親指で座の表面を奥側に押します

そのまま座が下がり上図のように展開ができます

4

点検・お手入れ

快適にお使いいただくため、メンテナンスをお願いします。

点検

ネジのゆるみ

使用時の揺れや振動などにより、製品に使用されているボルトやネジがゆるむことがあります。定期的なゆるみなどが無いかご確認いただき、ガタツキが生じたときは増し締めをしていただくことが長持ちの秘訣です。早めに増し締めをお願いします。
※締めすぎるとネジ穴をつぶす恐れがありますのでご注意ください。

お手入れ

通常

木部

乾いた柔らかい布で木目に沿って、軽くほこりを拭いてください。

金属部

柔らかい布で磨いてください。

樹脂部

柔らかい布を水にぬらし、よく絞って拭いてください。

布部

手ではたくか、電気掃除機でほこりを吸いとってください。

ひどく汚れた場合

中性洗剤を薄めた液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから拭き取り、洗剤が残らないように水拭きします。その後、乾いた柔らかい布で十分に乾拭きしてください。
シンナー、アルコール類および化学ぞうきんの使用は避けてください。変色する場合があります。中性洗剤は無色透明タイプをお使いください。着色料が入っている場合、色移りするおそれがあります。

繊維に汚れがしみこむと、完全に除去することが困難になります。汚れが付いたときは中性洗剤を薄めた液を柔らかい布に浸し、よく絞って拭きとり、洗剤が残らないようにできるだけ早めに水拭きしてください。その後、乾いた柔らかい布で十分に乾拭きしてください。

5

故障かな？と思ったら

現象	確認事項および対処法
異常な音が出る	可動部から異音が生じたときはただちに使用をやめ、お買い求め先の販売店にご連絡ください。
クッション部の汚れが落ちない	「お手入れ」の処置をしても汚れが落ちないときは、新しいクッションとのパーツ交換をおすすめします。

6

品質表示

「家庭用品品質表示法」に基づく表示

項目	詳細
寸法	幅 × 奥行 × 高さ 座面高さ 重量 W600mm × D540mm × H720mm 435mm(KLD-645 座クッションタイプ)、440mm(KLD-655 座木タイプ) 4.9kg (KLD-645 座クッションタイプ)、5.1kg (KLD-655 座木タイプ)
構造部材	座木 座クッション 背肘フレーム 脚フレーム 脚端 表面加工 張り材 天然木（クリ）+ウレタン樹脂塗装 ポリアミド+ガラス繊維、クッション材（ウレタンフォーム） 天然木（クリ）+ウレタン樹脂塗装 金属（鋼） ポリエチレン T1：エポキシポリエステル粉末塗装 ZC：ポリエステル溶剤塗装 ZS：めっき（ニッケル） DK：ナイロン100% CC：ウール90%、ナイロン10% KZ：ポリエステル100%

—W600— —D540—
—H720—

7

木のトリセツ

天然木ならではの特徴	
キャラクター	特性
色柄は全て違います	天然木は、商品ごとに木目、色、節の数などひとつとして同じものではありません。特に木目は、樹種や育った環境、製材方法によって、さまざまな表情を見せます。
節があります	節は木の成長過程で幹に枝が取り込まれ内部に残った部分のことです。色や形状などさまざまです。
経年変化が楽しめます	天然木は時間とともに伸縮を繰り返し、目度せなどが発生する場合があります。これを含め経年変化を楽しんでください。

予防または対処ができること		
キャラクター	特性	予防や対処
 ささくれが起こることがある	塗装面でも角や端などは欠けたりささくれが起きる場合があります。怪我をする恐れがありますのでご注意ください。	目の細かい紙やすりを使って、表面をやさしく削ってください。ささくれが大きい場合は有料で補修が可能です。
 ヒビ割れが生じることがある	塗装を施し割れが生じにくいようにしていますが、経年や環境によって木にはヒビ割れが生じることがあります。	接合部がぐらつく場合などを除き、ヒビ割れによる強度の影響はありません。気になる場合は有料で補修が可能です。
 時間とともに変色する	木の種類によって色が変化します。光による影響が大きく、紫外線は木材の成分を分解・変性させ、色を変化させます。	日光が直接あたらない場所に設置してください。同じ様の家具を購入した場合でも色が異なることがあります。
 縮む・曲がる・反る・ねじれる	使用する場所の湿度や温度の変化によって、縮みや曲がり、反りやねじれなどの変形が生じることがあります。	空調設備のある室内でお使いください。また空調の風や日光が直接あたらない場所に設置してください。
 水に敏感	水に濡れた状態で長時間放置をすると、膨張や染み、くされ、カビが発生することがあります。	水に濡れやすい場所での使用は避けてください。濡れてしまった場合、できるだけ早く水分を拭き取ってください。
 傷がつきやすい・へこみやすい	天然木は打痕や傷がつきやすい、柔らかい素材です。だからこそ暖かみを感じることができます。	鋭利なものや硬いものを当てないようにご注意ください。打痕や傷が生じた場合は有料で修理することが可能です。
 重さに敏感	重い物を置いて、長期間放置すると反りや割れなどが発生することがあります。	耐荷重を守り、適切なメンテナンスとご使用方法、設置環境に配慮してください。
 黒ずみが起こる	塗装を施していても、天然木は鉄やステンレスなど素地と化学反応を起こし黒ずみが生じることがあります。	鉄などの金属を素地のまま置かないでください。
 熱に弱い	熱い器を直接置いたりすると変色や輪染みが発生することがあります。	熱い器や結露のある器は直接置かないでください。
 燃えやすい	火が近くにあると引火する恐れがあります。	火気のある場所に設置することは避けてください。